



## 夏の幻想的な風景を夢見て 3 / 2

高松幼稚園の年中組と年少組の園児46人が、門屋ホタルの里でホタルの幼虫を放流しました。これは平成12年から毎年行っているもので、園児たちはホタルの里代表の沖二三男さんからホタルの一生について話を聞いた後、「元気に大きくなってね」などと声を掛けながら優しく放流しました。

◀「夏に見に来るね」とホタルの成長を楽しみにする園児



## 目標タイムを目指して疾走 3 / 7

第5回ジャストインクロカンが浜岡白砂公園で開催されました。この競技は自分で設定したタイムと実際に走ったタイムとの差がどれだけ少ないかを競うものです。今回は子どもから大人まで122人が参加して、それぞれの体内時計を頼りに少し早い春の日差しの中を駆け抜けました。

◀春の風を感じながら一斉にスタートする参加者



## 大きなイチゴを手に大興奮 3 / 9

北こども園の年長組園児たちが、宮本耕治さん(下朝比奈)が栽培するイチゴハウスでイチゴ狩り体験をしました。宮本さんの「自分の手でイチゴを摘んで味わってもらいたい」という思いで昨年からの実施されており、園児たちは大きく実ったイチゴを手に「おっきいよ〜!」「あま〜い」と笑顔で頬張っていました。

◀大きなイチゴを満面の笑みで見せてくれた園児



## お茶のシーズンがスタート 3/22

新野左馬助公へ献上する新茶の初摘みが3月22日、新野地区のハウス茶園で行われました。新茶の季節の幕開けとなるこの恒例行事には地元住民ら約30人が参加し、一芯二葉の手摘みで新芽を摘み取ると、ハウス内は春を感じさせる新茶の香りで満たされました。摘み取った茶葉は手もみされ、献茶式で奉納されます。

◀やわらかい新芽を優しく摘み取りました